

## 農地・水・環境保全向上対策事業

環境保全の輪が広がっています

この事業は、優良な農村環境や自然環境を守るため、現在、篠本新井・二又・入・小堤・坂田の5地区で、農業用水路や農道の維持管理作業、地域の景観形成や環境保全のための植栽や生き物調査などの活動が行われています。この共同活動には、農業者だけでなく地域の住民や各種関係団体が幅広く参加しています。

今後、これらの活動が地域に根づき「農地・水・景観」などの環境資源の保護、地域の連携の強化と活性化が促進されることが期待されています。



### 二又地区

植栽したセンチビートグラスが畦の雑草対策に効果を挙げています。



### 小堤地区

沿道への植栽や、池の浄化対策が図られています。

### ▼中学生が描いた共同作業



### 入地区

ヤマザクラの苗木  
100本を植樹



### 篠本新井地区

大規模な農地の基盤整備事業に伴う植生環境の変化の対策として、非常に珍しいノハナショウブを始めとする希少植物の移植が行われました。

### 坂田地区

景観形成のため植えられたヒマワリから、種を採取し中学生と油を絞る共同作業を行いました。参加した生徒は、この油を使った料理を考案し試食しました。

### 贈呈した▶ 「梅の木」



### ◀お礼にいただ いた桜と石碑

町では、姉妹町松田町町制施行100周年記念のお祝いに横芝光町の木「梅の木」を贈りました。この「梅の木」は、坂田城跡梅林で神保久雄さん（於幾）が丹精込めて育てた大樹をご厚意により寄付頂いたものです。植樹は、12月に当町の造園業者やボランティアの協力で、トラックや重機を使い1日をかけて行われ、富士山に見える松田町最明寺史跡公園内に植樹されました。

一方、松田町からは「梅の木」のお礼にと「早咲き桜」10本と友好を記した「石碑」をいただき、桜と石碑は、旧横芝中学校跡地の一角を飾ることとなりました。桜の開花が楽しみです。

## 姉妹町に梅の木を贈呈

お礼に桜の木と石碑を

いただきました